

「地域活動担い手養成講座」を開催しました

令和7年12月20日(土)、「地域活動に参加したくなる仕組みづくり」をテーマに、盛岡タカヤアリーナ(本宮五丁目)にて令和7年度地域活動担い手養成講座を開催しました(主催:盛岡市、共催:盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会)。

町内会・自治会の役員、地域活動に興味がある人など、約30名が参加しました。

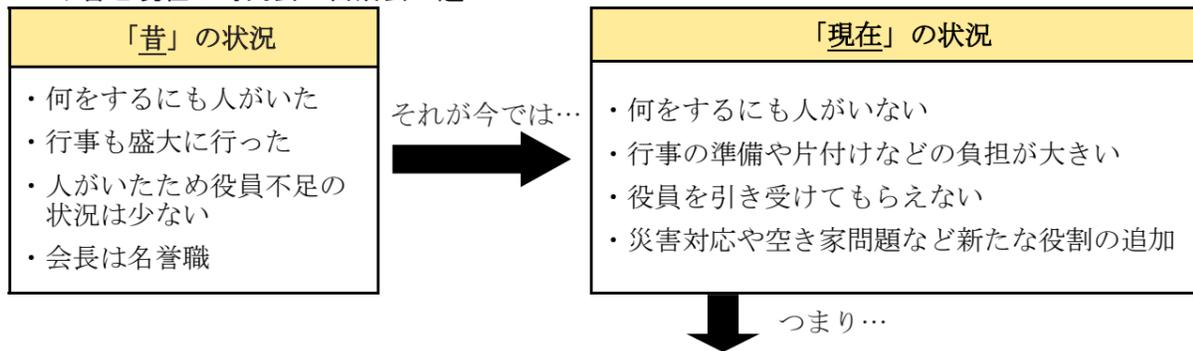
○講師

特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21 なかむら きょうか 中村 恭香 さん



○主な講義内容

◆昔と現在の町内会・自治会の違い



従来と同じ活動を同じ量で行っているのは、一人当たりの負担が増加してしまう

◆課題に対する対応策

- ・注力(継続)する事業と廃止する事業を地域で話し合う。
- ・自らの町内会・自治会の会議等に加え、外部団体から頼まれて出席している会議等についても外部団体と一緒に負担軽減について検討する。

◆若い世代の参加について

- ・若い世代に話を聞くと、地域活動に関心がある人も多い。
- ・どのイベントに参加したらよいかや、参加の仕方が分からない。
- ・従来の回覧板などでは若い世代に情報が届きにくい。若い世代にも情報が届くような情報発信が必要。

○グループワークで出された主な意見(テーマ:負担軽減や若い世代の参加に向けて)

- ・役員間の連絡にLINEなどを導入する。
- ・何かを頼む際、負担にならないように役割を細分化して依頼する。
- ・地域の人だけではなく、学生さんなどのボランティアからも参加してもらえる環境をつくる。
- ・若い世代にイベントを考えてもらい実施する。
- ・人気のないイベント等の見直しを行う。
- ・子ども向けのイベントを行い、子育て世代の人に参加してもらう。
- ・近隣の町内会・自治会や、その他団体と一緒にイベントを行う。
- ・二次元コードでイベント参加者の取りまとめを試みる。
- ・回覧板を確認した時は判子や日付などのサインをもらう。
- ・手元にお知らせが残るようにイベントや行事のお知らせは各戸配布する。



盛岡市ホームページ
での記事はこちら
(広報ID: 1055453)



元気なコミュニティ特選団体 新たに3団体が認定されました!

岩手県では、人口減少・少子高齢化に向き合い、地域力の強化に取り組む県内のモデルとなるコミュニティ組織を年1回選定しています。今年度は盛岡市から3団体が認定されましたので、その団体を紹介します。

また、盛岡市では元気なコミュニティ特選団体に認定された団体に対し、(一財)自治総合センターの助成事業(宝くじ助成)の申請順位が高くなるよう加点を行うなどの優遇措置を講じています。

コミュニティ食堂「どんぐりの杜」



毎月第2土曜日に本宮三丁目公民館で、町内の住民が誰でも利用できる弁当形式のコミュニティ食堂を運営しています。

運営スタッフは活動に賛同したボランティアで、近隣高校の生徒も参加しています。幼児から90歳を超える高齢者まで、幅広い世代が利用しています。

歩行が困難な人へは見守りや安否確認も兼ねて弁当を配達しており、住民同士が互いに声をかけ合える地域づくりを目指しています。

道明町内会



「地域で取り組む子育て支援」をキャッチフレーズに、子ども会と連携した夏まつりの開催や、新設された公民館を利用した寺子屋活動、夏・冬休みの時期の子どもの居場所づくりなどを行っています。

町内会には子育て中の世帯が多く、将来に渡ってその世代が町内会活動に参加しやすい雰囲気となるよう、子どもと一緒に楽しめるイベントを企画するなど、多様な世代が活躍する町内会を目指して日々活動しています。

仁王地区福祉推進協議会 仁王寺子屋実行委員会



「地域の社会資源であるお寺を活用した新たな交流機会の創出」や「若者ボランティアと地域の子どもの交流を通じたボランティア活動の育成支援」などを目的として、仁王地区の福祉推進協議会が中心となり、実行委員会を組織し活動しています。

活動内容としては、夏・冬休みの年2回、地域内の寺院で、仁王地区在住の小学生を対象に、高校生ボランティアが小学生の学習をサポートする「仁王寺子屋 ～宿題しよう会～」を開催しています。